

須坂学園構想 基本方針(案)について声をお聴かせください

須坂市教育委員会では、新しい学校づくり基本方針検討委員会等を設け、須坂学園構想を検討してまいりました。子どもたちにとってよりよい教育環境を整え、未来を見据えた学校を目指すために作成した「基本方針(案)」をお示しします。ご覧いただき、市民の皆様の声をお寄せください。(提出方法は4ページ参照)

2025年4月から順次、保護者説明会・地域説明会の開催を計画しております。今後さらに皆様からのご意見等をいただきながら、基本方針を策定してまいります。

新しい学びを実現する 新しい学校をめざして

須坂学園構想 基本方針(案)

2025年1月 須坂市教育委員会

基本方針策定の趣旨

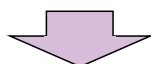
情報化や国際化、少子化が急速に進む社会の中で、大切にしたい子どもの学びのあり方を検討するため、2020年度から2年間にわたり、「学びのあり方検討会議」が開催され、須坂市としてめざす学びの姿について提言書がまとめられました。

市教育委員会では、この提言を受けて、「新しい学び(須坂モデル)」を作成し、「園小連携による非認知能力の育成」「小中学校9年間を見通したカリキュラム編成による学びの構築」等、提言を具体化する取り組みを示しました。また、小中学校の適正な規模および適正な配置のあり方について、「須坂市小中学校適正規模等審議会」に諮問し、2023年に答申書がまとめられました。答申では、「幼児期からつながる小中一貫教育の推進」「多様な価値観と出会える学校規模」「学校数や学区の見直し」「学校再編を進めるうえでの留意点」等が提言されました。

市教育委員会は、これまで丁寧に議論されてきた答申等を踏まえながら、子どもたちの将来を見据え、よりよい教育環境を整え、一層の教育の充実を図ることを目的に「須坂学園構想基本方針」を策定しました。

須坂市がめざす子どもの姿

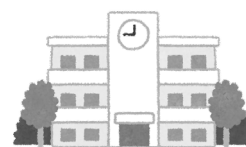
ひら
自分らしく未来を拓いていく子ども

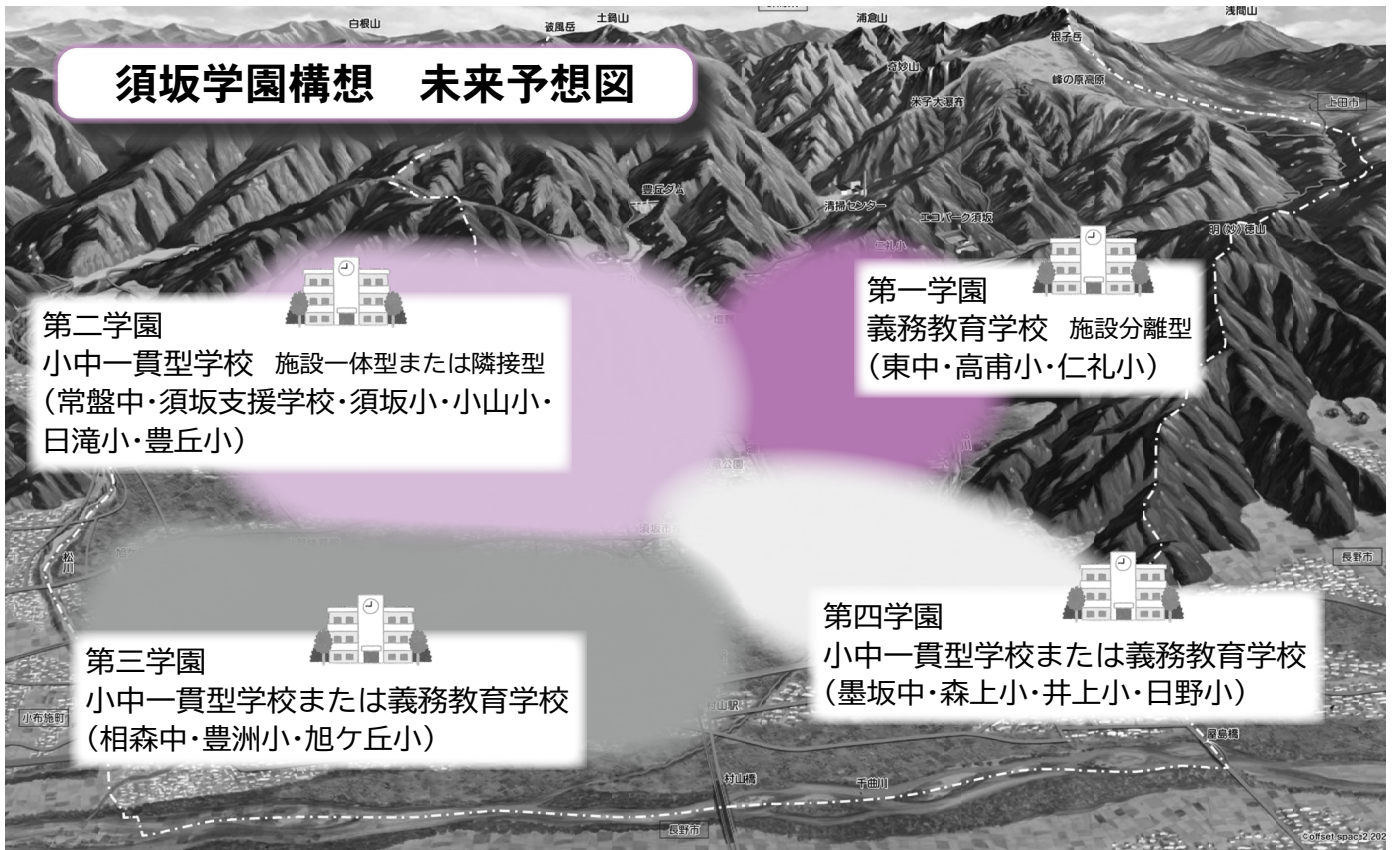


「自分らしく未来を拓いていく子ども」をめざし、小学校と中学校が一体となり、小中一貫教育を行う学園を創っていきたいと考えています。

須坂市がめざす学校

- 子どもが、学びをつなげ、生きる力を伸ばす学校
- 子どもが、多様な価値観と出会い、友と学び、地域とともに歩む学校
- 子どもが、自分らしさを発揮し、お互いを認め合う学校





須坂学園構想 未来予想図

第二学園

小中一貫型学校 施設一体型または隣接型
(常盤中・須坂支援学校・須坂小・小山小・日滝小・豊丘小)

第一学園

義務教育学校 施設分離型
(東中・高甫小・仁礼小)

第三学園

小中一貫型学校または義務教育学校
(相森中・豊洲小・旭ヶ丘小)

第四学園

小中一貫型学校または義務教育学校
(墨坂中・森上小・井上小・日野小)

※新しい学校の開校に向けて、小中学校ともに通学区域の見直しを進めます。

須坂学園構想 未来予想図について説明します



「須坂学園構想」とは何ですか？

須坂学園構想とは、一つの中学校とその通学区域内の小学校を一つにまとめ、それを同じ学園と捉え、小学校と中学校が一体となって小中一貫教育を進めることです。上記の未来予想図のように四つの学園に新しい学校を創っていきます。



「小中一貫教育」とは何ですか？

小学校と中学校の9年間の義務教育を一貫して行う教育制度のことです。小中一貫教育では、学力の向上、小学校から中学校への進学における「中1ギャップ（小学生生活とは異なる新しい環境になじめず、授業についていけなくなったり、不登校等が起こったりする現象）」の軽減、幅広い年齢層とのコミュニケーションなどが期待できます。

さらに、小学校で教科担任制が導入しやすい、中学校の教員が小学生の授業を行えるなど、柔軟な教育活動ができるよさもあります。

右の二次元コードから動画「小中一貫教育のよさ」もご覧ください。



須坂学園構想で現在の学校はどうなりますか？

須坂学園構想のもと現在の学校は順次、再編され新校になります。それにとまって、通学区域の見直しにより、居住する自治会(町)によっては通学する学校が変わる場合もあります。





学園構想ではどんな学校になりますか？

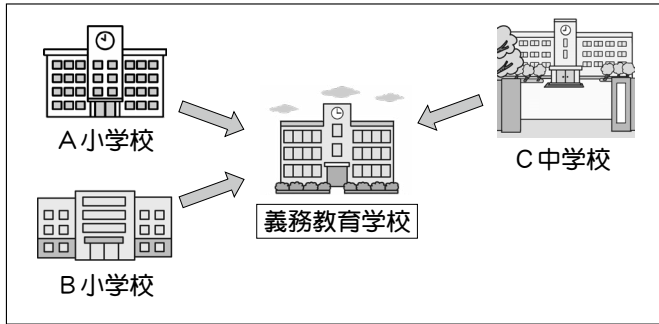
須坂市では義務教育学校または小中一貫型学校の開校をめざします。



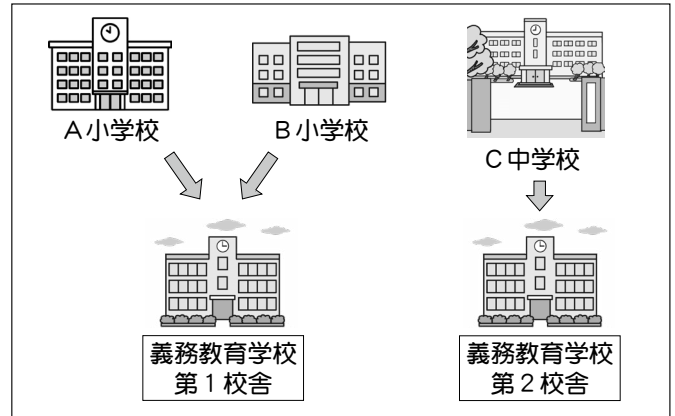
(1) 義務教育学校

小学校と中学校の区切りをなくし、9年間の義務教育を一貫して行う学校。
施設の形態は次のとおりです。

① 施設一体型



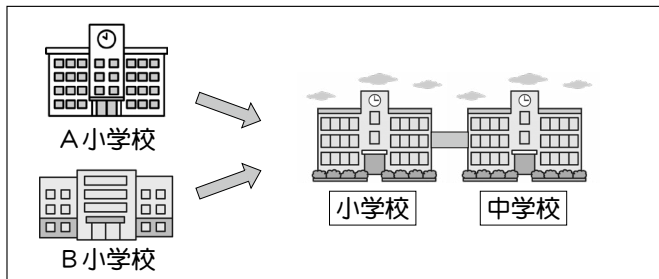
② 施設分離型



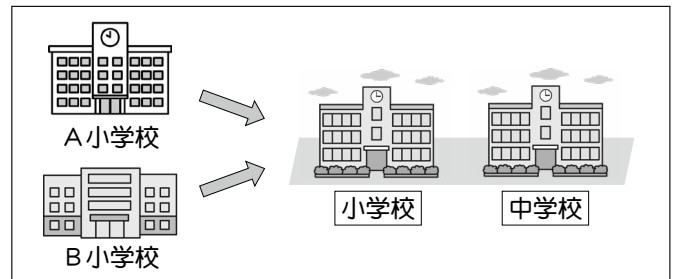
(2) 小中一貫型学校

小学校と中学校の区別はありますが、小中学校が同じ目標で、9年間の義務教育を一貫して行う学校。
施設の形態は次のとおりです。

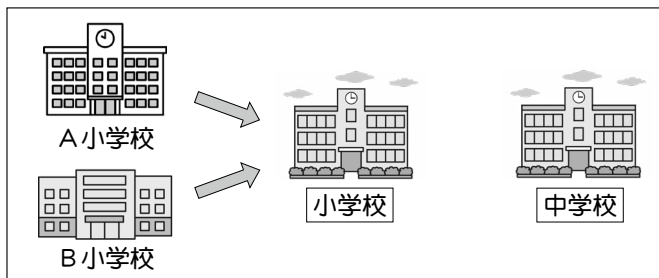
① 施設一体型(渡り廊下等で校舎をつなげる)



② 施設隣接型(同一敷地又は隣接する敷地)



③ 施設分離型



新しい学び、小中一貫教育、学校類型など、基本方針にかかわる情報を掲載した「新しい学校づくりだより」も二次元コードからご覧ください。

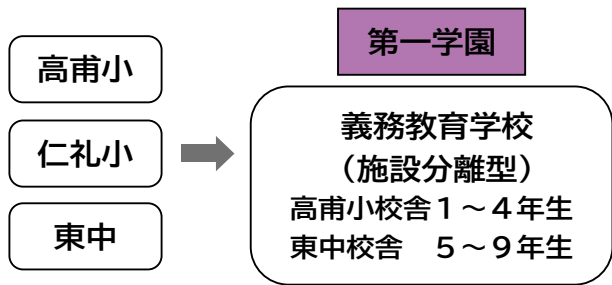
須坂市ホームページからもご覧いただけます。



- 須坂市では学園構想のもとに、義務教育学校または小中一貫型学校の開校をめざします。今後の児童生徒数の推移や通学区域の検討、地理的条件(学校の設置場所、敷地面積、通学距離)などを考慮して、決めていきます。
- 義務教育学校または小中一貫型学校いずれの学校でも、新しい学び(須坂モデル)をもとに教育活動を行います。

須坂学園構想計画

今後6～7年後までに



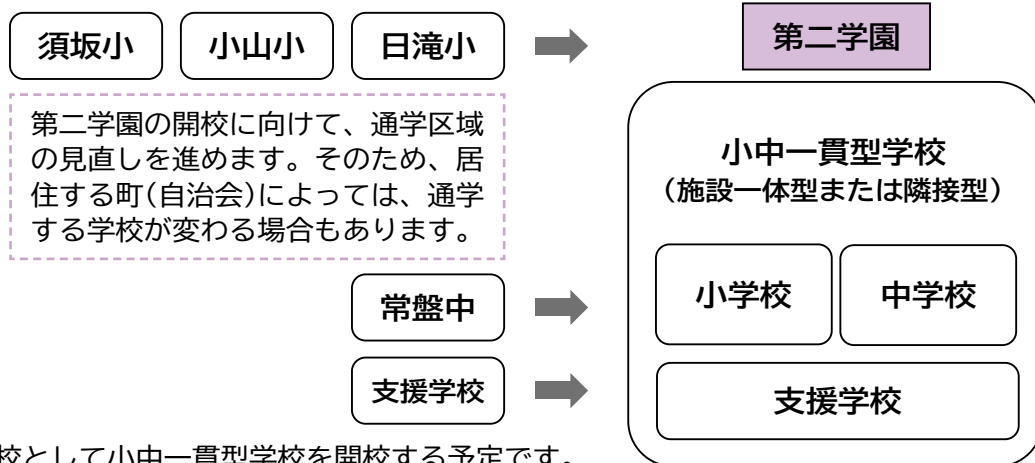
- 新しい学校として義務教育学校（施設分離型）を開校する予定です。
- 第一学園の1～4年生は現在の高甫小校舎、5～9年生は現在の東中校舎を利用します。各校舎は必要な改修や増築をします。
- 通学距離や通学時間が長くなる場合は、通学の負担を考慮し、スクールバス等の運行を検討します。

第二学園準備



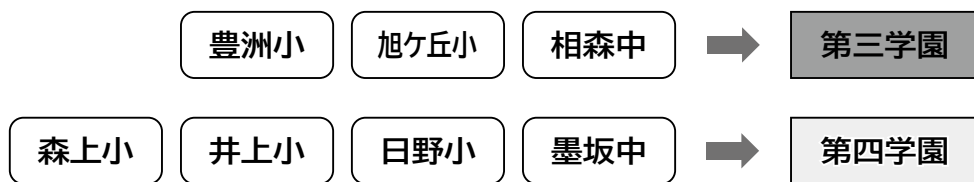
- 現在の豊丘小は、将来的に第二学園の通学区域とします。そのため第二学園開校までは、豊丘小の児童は、須坂小に通学します。
- 通学距離や通学時間が長くなる場合は、通学の負担を考慮してスクールバス等の運行を検討します。

第一学園の開校から6～7年後までに



- 新しい学校として小中一貫型学校を開校する予定です。

第二学園の開校以降



第三学園と第四学園の開校に向けて、通学区域の見直しを進めます。そのため、居住する町(自治会)によっては、通学する学校が変わる場合があります。

- 第二学園の開校後、第三学園と第四学園については、それぞれ順次、小中一貫型学校(または義務教育学校)の開校を目指して準備を進めていきます。

次のいずれかの方法で声をお寄せください。【アンケート期間：2025年1月1日～1月31日】

■ながの電子申請サービス

お持ちのスマートフォン等で二次元コードを読み込み、入力してください。

■アンケート用紙

各地域公民館及び須坂市役所学校教育課の窓口でアンケート用紙を配布します。

記入後は、配布窓口に設置したアンケート回収箱へ入れてください。



【問合せ】 須坂市教育委員会 学校教育課 電話：026-248-9010